

一般質問

令和7年12月定例会

一般質問 ～13人の議員が 市政を問う～

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる問題について、議員が市に対して質問を行います。

※一般質問のタイトルおよび質問内容は質問者の責任において作成しています。

角田 喜和 議員 P 6

- 国民健康保険負担軽減
- 投票所の見直しと今後の対策
- 防災対策

茂木 弘伸 議員 P 6

- 安全なまちづくり
 - 1 消防防災
 - 2 県道高崎渋川線道路改良事業
 - 3 金井新町高源地線道路改良計画

須田 勝 議員 P 7

- 市民のしあわせが第一
 - 1 子どもたちに夢教育を
 - 2 消滅都市防止対策

福島 丘泰 議員 P 7

- 笑顔あふれる渋川のために
 - 1 J R 渋川駅を核としたにぎわいの創出
 - 2 「渋川とつながる」観光戦略
 - 3 林業振興と林業政策

高野 佳美 議員 P 8

- 新市長の施政方針を受けて
 - 1 子育て・教育環境の整備
 - 2 医療・福祉体制の強化
 - 3 行財政改革と事業の優先順位

埴田 裕之 議員 P 8

- 安心安全に暮らせる街づくり
 - 1 危機管理
 - 2 随意契約
 - 3 条例制定
 - 4 事業と対策の進捗確認
 - 5 小学校の夏休み
 - 6 自治会の改革
 - 7 依存症対策

中澤 功史 議員 P 9

- 持続可能な渋川を創ろう
 - 1 「総合計画」に基づく市政に向けて

後藤 弘一 議員 P 9

- コンニャクの価格低迷対策
- 有害鳥獣の現状と対策

山内 崇仁 議員 P 10

- 渋川市の魅力を発信
 - 1 スポーツ施設の整備
 - 2 渋川市まちづくり財団

田村なつ江 議員 P 10

- 市民生活環境を安全安心に
 - 1 北橘町小室地区道路改良事業
 - 2 福祉車両購入補助
 - 3 生活環境被害
 - 4 防災力の強化

高澤 幹 議員 P 11

- 住む人すべての幸せを育むまち渋川市
 - 1 教育環境
 - 2 防災
 - 3 情報発信

田中 猛夫 議員 P 11

- 市政運営
 - 1 公共施設の維持管理
 - 2 総合計画の改訂と策定
 - 3 有害鳥獣対策
 - 4 人材の育成と活用

加藤 幸子 議員 P 12

- 市民の安全・安心を守るために
 - 1 伊香保温泉「石段の湯」の運営
 - 2 P F A S 対策の進捗状況

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。映像は各議員のタイトル下の二次元コードからご覧いただけます。



角田 喜和

移動期日前投票所 (巡回投票所)の設置を



質問

平成18年の合併で赤城町の投票所は22カ所から11カ所に減った。以前は数百メートル歩けば投票できたが、現在は投票所まで2kmもあり考えてしまう。投票する権利の保障のために、移動期日前投票所(巡回投票所)設置の検討を。

(総務部長)

移動投票所の設置に当たっては、市域全体を対象とした設置基準の整理など、慎重な判断が必要になると考えています。なお、有権者数や面積に対する本市の投票所の数は、県内他市と比べ、決して少ない状況ではありません。

災害発生時の把握と対応は

質問 障がい者や高齢者等、災害発生時の避難に支援が必要となる避難対象者の把握は。

(福祉部長)

自力避難が心配な方に、災害時避難行動の要支援者登録と個別支援プラン登録を奨励し、登録に基づく要支援者名簿を避難状況の把握に活用していきます。

質問

目や耳の不自由な方への災害情報等の周知方法と対応策は。

(福祉部長)

防災行政無線による音



移動期日前投票所の導入を

声、市公式LINE、市公式X、はっとメールでの文字による情報伝達のほか、個別支援プラン登録者には指定支援者による可能な範囲での声かけ等が行われます。

質問 避難者には障がい者が含まれ、健常者とは異なる配慮が必要になる。避難所の監督者になりうる職員への周知とその計画は。

(情報防災部長)

避難所開設運営マニュアルへの記載や、研修会を実施することで周知しています。今後、研修会等を通じて周知を徹底していきます。



茂木 弘伸

安全なまちづくり

消防防災

質問

災害時に活動する消防団の実情と定数、充足率、火災時の平均出動人数を伺う。

(情報防災部長)

定数662人に対して充足率は85・5%で、火災時の平均出動人数は12・1人です。

質問 防災力の強化に、消防団活動を後方支援する消防防災協力員制度の導入を提案するが見解は。

(情報防災部長)

既に導入している機能別消防団員制度と、消防防災協力員制度の違いなど、研究していきます。

質問 防災士の活動と防災力向上につながる仕組み作りの検討は。

(情報防災部長)

地域防災力向上の担い手人材として、防災士資格の取得を支援するための制度創設を検討していきます。

質問 消防団のDX化はどのように推進するのかわかるか。

(情報防災部長)

団員の負担軽減、活動の効率化、情報共有の迅速化を目的に、消防団のDX化を進めていきます。

道路改良

質問

県道高崎渋川線の道路改良の現状は。

(建設交通部長)

令和5年度末から県と共に用地交渉を進めており、令和6年度までに4件契約し、そのうち未完了の2件の移転と建物撤去が今年度内に完了の予定です。

令和7年度は、2件契約済みです。

質問 市役所本庁舎南側に位置する都市計画道路の改良計画は。

(建設交通部長)

建設場所の検討を含む市役所新庁舎の整備計画の進行状況を考慮しながら進めます。



早く広がり 県道高崎渋川線(石原工区)



一般質問

※新聞に掲載された県移動人口調査によるものです。令和2年の国勢調査結果を基礎とし、移動数を加減しているため、住民基本台帳人口(令和7年9月末現在71,452人)とは一致しません。



須田 勝

市民のしあわせが第一



子どもたちに夢教育を

質問 近年、若者による詐欺や殺人が多発。学校での道徳教育は。

教育部長 学校では児童生徒が自分ごととして考え、議論する授業を実践し、道徳的価値の理解を深められるよう充実を図っています。

質問 子どもの夢を叶えるために、部活動の未来化、一元化を望む。

教育長 一元化もひとつの方策ですが、課題もあります。現在取り組んでいる合同チームの活動や部活動地域展開の推進の中で、さまざまな課題の解決が、子どもたちの夢の実現につながると考えます。

質問 夢や希望を持たせる教育をどのように指導しているか。

教育長 特別活動を通じて規律の順守、やり抜く力、個性・人権・

多様性を尊重する姿勢、主体的に未来を切り開く力を育てています。

消滅都市防止対策

質問 赤城地区のすべての地域が限界集落化している。緊急対策を。

総合戦略部長 引き続き市民が安心して住み続けられる環境を維持



部活動の一元化を望む

するための対策を進めていきます。

質問 小規模な自治会は役員のなり手が不足。市として自治会統合や合併前の区長制度に戻す考えは。

市長 自治会制度を基本とし、市民の皆さまのご意見を伺いながら

一緒になって地域の実情に対応できる自治組織の構築を目指します。

質問 市の人口が10月1日現在で7万人を割った。今後の対応策は。

市長 健全な行財政を確保しつつ、未来を見据えた持続可能なまとまりのあるまちづくりに、市民、議会と協力して取り組んでいきます。



福島 丘泰

笑顔あふれる渋川のために



JR渋川駅を核としたにぎわいの創出

質問 渋川駅周辺整備完成後のセレモニーを、にぎわいを創出する民間事業とコラボして行う考えは。

建設交通部長 完成後のセレモニーは、渋川駅周辺のにぎわい創出を図るイベントと一体的に実施することを考えています。現在、JR東日本高崎支社からイベント実施に関して提案を受けています。

渋川とつながる観光戦略

質問 インシヤル頭文字Dなど、アニメを活用した観光戦略の目的と狙いは。

産業観光部長 アニメを活用した観光戦略は、本市への誘客促進を大きな目的としております。この

戦略を推進することにより、地域経済の活性化と本市の知名度向上に好影響があると考えます。

林業振興と林業政策の方針

質問 本市林業の現状を踏まえ、改善し向かうべき将来像は。

市民環境部長 環境保全や災害防止による持続可能な森づくりを通じて、地域経済と環境保全の両立

を図り、また、森林環境譲与税を活用し、住民が安心して暮らせる地域社会づくりの施策を進めます。



公共建物や建築物に木材の利用を促進し脱炭素社会の実現や地方創生に貢献

市長 今後はより一層庁内における利用促進の周知を徹底しつつ、強度の面やランニングコストなどを検証し、木材の有効活用を推進していきます。また、将来的には市役所の新庁舎建設に際し、積極的な木材利用も検討していきます。

※複式学級：児童生徒の人数が少ないなどの理由で、2つ以上の学年で構成される学級のこと
単学級：学年に1つの学級のこと



高野 佳美

新市長の施政方針を受けて



子育て・教育環境の整備

質問 今後、小中学校の適正規模・適正配置を検討する際の基準は。

教育部長 複式学級抑制や単学級発生を目安とする想定はなく、本市が目指す教育や学校の実現に資する適正な規模を想定しています。

質問 市が描く幼少期からの英語教育のビジョンとは。

教育部長 小学校低学年も英語が身近で楽しく感じられるよう工夫し、新たな語学研修の実施や英語に触れる機会の創出に努めます。

質問 中高一貫校設置などの検討を行う考えに至った経緯は。

市長 県議時代に一貫校を視察し、中学、高校と学習の連続性を確保し、地域の教育力向上や産業人材育成につながると感じたためです。

質問 病児・病後児保育を今後どのように拡充していくのか。

市長 お子さんの急病でも保護者が安心して働けるよう、病院や保育園で行っている病児・病後児保育をしっかりと支援していきます。



新庁舎建設が待たれる市役所本庁舎限られた財源の中での優先順位は

行財政改革と事業の優先順位

質問 限られた財源の中でどのような事業を優先して実施するのか。

市長 将来に不安を残さない、未来を見据えた持続可能な市をつくるため、新庁舎建設や公共施設等の再編などを優先して実施します。

医療・福祉体制の強化

質問 渋川医療センターの診療体制の拡大として、産科・小児科専門医の確保および支援対策は。

育都推進部長 渋川医療センターとは情報共有を図っていきます。周産期・小児医療体制、専門医の確保は県と一緒に取り組みます。



埴田 裕之

安心安全に暮らせるまちづくり

火災時の初期消火のために

質問 消火栓は多数あるがホース格納箱の設置が少ない。増設を。

情報防災部長 ホース格納箱設置の補助メニューを用意し、自主防災組織である自治会に管理、更新をお願いしています。

子持行政センター駐車場の電柱

質問 電柱が傾いており危険。撤去する必要があると思うが見解は。

市民環境部長 電柱に架かっている電話線等の使用状況を調査し、本年度中に撤去する方向で手続きを進めています。

通学路のグリーンベルト対応

質問 中郷小学校から児童クラブまでの通学路でグリーンベルトが途切れており、通学路点検で危険と指摘された。対応の進捗は。

建設交通部長 児童生徒が利用する個所のグリーンベルト設置は施工する受注者が決定しています。今後、順次実施します。

北橋中学校体育館雨漏り対応

質問 9月定例会で質問した雨漏りについて、質問後の対応状況は。



安心安全な通学のために整備されました(中郷地区児童クラブ周辺グリーンベルト)

教育部長 9月定例会では、まずは調査し対応すると答弁申し上げており、実施した対応により、現在雨漏りは止まっています。

それぞれの依存症へのサポート

質問 アルコール依存症からの回復を望む集会(通称A.A)を市内で視察した。多様な依存症に苦しむ市民やその家族のため、広報等の情報提供や群馬県との連携、市の手厚いサポートが必要。見解は。

市長 非常に重要な問題だと思っており、これから改めてしっかりと検討していきたいと考えています。



一般質問



中澤 功史

持続可能な渋川を創ろう



第2次総合計画の進ちよく

質問 総合計画（後期基本計画）は進行の遅れが目立つ。どのように計画的に進行管理していくか。

市長 進ちよくが遅れている施策に注力して進めるとともに、市役所の新庁舎建設や公共施設等の再編を積極的に進めていきます。

第3次総合計画の策定

質問 次期総合計画を令和9年度に策定するに当たり、市民の参画や議会の関与をどう考えているか。

総合戦略部長 地区別説明会や市民意識調査などを実施するとともに、議会の意見を伺いながら策定を進めたいと考えています。

質問 総合計画策定条例を改正し、市民の参画や議会の関与を定める必要がある。条例改正する考えは。

総合戦略部長 現時点で条例改正は考えていませんが、市民、議会の意見を伺いながら総合計画の策定を進めていきます。

小中学校における学びの課題

質問 市長が施政方針で掲げた中高一貫校の検討は、小中学校の適



私たちの声で未来の渋川をデザインしよう
第3次総合計画の策定が始まります

正配置と関連させ検討する考えは。

市長 現在、市が進めている小中学校の適正規模・適正配置の方針を加味し、県と連携を取りながら検討していきたいと考えています。

質問 小中学校適正配置を検討している今も小規模校で学ぶ子どもたちがいる。集団活動の制限など小規模校のデメリットの解消に行っている取り組みと今後の考えは。

教育長 人間関係の固定化や序列化に対し、学年が混在する縦割り活動等の好事例を校長会議等で共有し、対策を進めたいと考えます。



後藤 弘一

市民の生活を守る



コンニャクの価格低迷と支援

質問 今年度のコンニャクの生産高と価格の把握状況は。

産業観光部長 令和7年度生産高と価格は共に確定していませんが、県が発表した作況指数は70と過去最低で著しい不良、価格は昨年度より若干良いとのことでした。

質問 市独自の消費拡大の工夫は。

産業観光部長 しらたき大作戦を昨年度から実施しています。また、補助金によりPRを行っています。

質問 市独自の補助のさらなる増強と継続が必要。市長の決意は。

市長 コンニャク農家をはじめ、農業者への支援を検討し、地元農産物の普及促進に努めていきます。

有害鳥獣の現状と対策

質問 市街地へのクマの出没が連日報じられている。クマを含む有害鳥獣の捕獲頭数と被害状況は。

市民環境部長 令和6年度の主な捕獲頭数はイノシシ96頭、シカ373頭、クマ4頭、アライグマ254頭、ハクビシン207頭で、農作物の被害額は約826万70



クマの出没

00円です。

質問 猟友会の地区別実働人数は。

市民環境部長 渋川地区16人、伊香保地区6人、小野上地区8人、子持地区24人、赤城地区30人、北橘地区14人の合計98人です。

質問 法律改正で人の生活圏での発砲が可能となった緊急銃猟制度に関し、手引書を作成する自治体が出てきているが、本市の状況は。

市民環境部長 渋川市有害鳥獣捕獲隊と渋川警察署と調整を行い、渋川市危険鳥獣等出沒対応マニュアルの策定を進めています。

※DH制：野球において、投手の代わりに打席に立ち、守備に就かない打撃専門の選手を指名打者として起用できる制度



山内 崇仁

渋川市の魅力を発信



スポーツ施設の整備

質問 令和11年に開催される第83回国民スポーツ大会に向けたスポーツ施設の整備計画は。

（育都推進部長） ソフトボールと軟式野球の会場について、令和8年度から競技基準に適合した施設の改修や選手の安全に配慮した改修を計画的に進めていきます。

質問 渋川市総合公園野球場のバックスクリーンの改修要望があると聞く。どのように対応するのか。

（育都推進部長） 一昨年に軟式野球の中央競技団体から指摘された、DH制に必要な選手名揭示板を追加し、あわせて選手名揭示板も更新する予定です。

質問 国民スポーツ大会に向けて、渋川市はどのように取り組んでいるのか、市長に伺う。

（市長） 安全性の確保と競技環境向上のため施設整備を行い、関係団体と連携し大会の意義を周知し、市の魅力発信につなげ、大会を成功させるよう準備を進めます。

質問 坂東橋緑地公園ソフトボー



第83回国民スポーツ大会に向けて計画的な会場整備を

ル場のグラウンド整備予定は。

（建設交通部長） 降雨後の状況の特にひどいA面については、解消に向けて整備を検討中です。残りの3面についても、状況を確認しながら検討していきます。

質問 スポーツ施設を利用する際、その地域の管理事務所で申請しなければならぬ。どの管理事務所からでも申請可能にできないか。

（育都推進部長） 同一大会等で市内のスポーツ施設を複数利用する場合、一つの管理事務所で申請手続きができるようにします。



田村なつ江

市民生活環境を

安全安心に



北橋町小室地区道路改良事業

質問 この事業の進捗がよくが思わしくないが、事業完了の見込みは。

（建設交通部長） 令和7年度は盛土工事を実施します。事業効果の早期発揮のため、令和8年度に完了するよう対応していきます。

福祉車両購入費補助

質問 福祉車両購入費補助、改造費補助が不十分と考えるが見解は。

（福祉部長） 物価高に伴い車両購入費用等も上昇傾向にあるので、他の状況等を注視するとともに事業内容の精査を行っていきます。

生活環境被害

質問 たらひ回しにされる害虫相談窓口を一本化すべきと考えるが。

（市民環境部長） 相談・通報を一元的に受け付ける窓口（ワンストップ窓口）を環境森林課に設置する方向で検討を進めています。

質問 有害鳥獣の駆除に当たるハンター自身の保険加入への見解は。

（市民環境部長） 市から任命された鳥獣被害対策実施隊員は非常勤の公務員としており、任務中の自身



クマの足跡と捕獲のための箱わな

のケガは、公務災害の対象です。

質問 クマ出没対策に柿の木伐採を補助する例がある。市の見解は。

（市民環境部長） 効果の確実性、持続性の観点で慎重な検証が必要と考えます。また、補助対象の範囲や適用条件等の課題もあります。

防災力強化

質問 防災組織の見直しと、防災リーダー会との連携の考えを伺う。

（市長） 防災の意識を持つことは非常に大事なことです。多様なネットワーク作りについて、研究していきたいと思っています。

一般質問



高澤 幹

住む人すべての幸せを

育むまち渋川市



教育環境の充実

質問 校長会でのクマ対策の検討や、県教委からの通知発令を受け、市が講じた児童生徒への対策は。

教育部長 市は学校に対して、クマ出没時の安全対策や連絡体制の整備と、児童生徒の自己防衛力の育成に向けた指導を要請しました。

質問 クマ対策に通学バスの市内全域運行やデマンドバスの活用は。

市長 バスをどうしていくのかは大きな課題であり、さまざまな意見を受け止め、しっかりとした方向性を出していければと考えます。

質問 子どもへの性暴力防止に関し、SOSの出し方の教育環境は。

教育部長 教職員に人権教育の充実に向けた研修を行い、児童生徒が困ったときに相談しやすい環境づくりを促進しています。

質問 学校での新聞購読のための国の予算で新聞購読をしているか。

教育部長 多種多様な情報に触れる機会の提供という観点から令和7年度は小学校8校、中学校2校が新聞を購読しています。



避難所開設・運営訓練のレイアウト図

避難所開設・運営訓練

質問 今年3カ所で実施した訓練の対象者と実施目的は。

情報防災部長 会場となった小学校区の自治会の方を対象に、有事の際のスムーズな避難所の開設と運営を目的として実施しました。

質問 訓練会場で配布されたレイアウト図と、実際に配置されたレイアウトが異なっていた理由は。

情報防災部長 配布した図は実際の災害時に使用するもので、今回の訓練は、自治会等の役割などを丁寧に説明するものとなりました。



田中 猛夫

安全安心な生活環境

アメリカシロヒトリの防除

質問 大正橋付近の河川敷にアメリカシロヒトリが大量発生し、周辺民家に被害が出た。河川管理者である県の対策が求められる。また、市では学校の校庭等の樹木に大量発生した。公共施設を一括対応する部署が必要では。

総務部長 特定の所管課で一括対応した場合のメリットとデメリットを整理し、他市の状況を踏まえた上で、いかに対応するのがよいか検討を進めたいと考えています。

有害鳥獣対策

質問 ツキノワグマの餌となる柿やクリなどの樹木伐採費の補助金を導入する考えは。

市民環境部長 効果の確実性、持続性および公平性の観点から慎重な検証が必要であり、今のところ導入には至っていません。

質問 ツキノワグマが住居地域に入ることを防止する対策として、山林や河川敷の樹木や雑草の刈り払いを行うべきでは。

市民環境部長 河川敷の樹木や雑



アメリカシロヒトリが発生した河川敷

草の刈り払いには有害鳥獣の潜み場を減らし、出没の抑制につながる取り組みであると認識しています。管理者である県渋川土木事務所へ協力を要請していきます。

質問 児童生徒の登下校時の安全対策として、ツキノワグマが出没する期間は、スクールバスを利用し安全を確保するべきでは。

教育長 多くの課題がありますが、児童生徒の安全確保に向け、地域を限定し一定期間運行できないか、対応について、早急にお答えできるようにしたいと考えています。





加藤 幸子

市民の安心・安全を
守るために

守るために



伊香保温泉「石段の湯」

質問 「石段の湯」の設置目的は。

産業観光部長 誘客の促進を図るとともに住民福祉の増進に寄与することを目的としています。

質問 使用料が昨年度値上げされたが、他自治体と比べ料金は妥当か。

産業観光部長 類似施設や近隣の観光地の公共浴場と比較すると同額もしくは安い設定となっていることから妥当性はあると考えます。

質問 現場に責任者がいないが、常勤の責任者を配置する考えは。

産業観光部長 現在、常勤の責任者の配置はありませんが、組織、人事等の観点から、今後総合的に判断していきたいと考えます。

水道水のPFAS汚染

質問 新浄水場の建設による抜本対策に7年かかる。建設候補地の

森林を市内団体が国の補助を受け整備したための伐採制限が、7年かかる要因の一つ。団体が受けた補助金を市が肩代わりし国に返還し、抜本対策の完了を早めるべき。

上下水道局長

団体と協議を進め



伊香保温泉石段の湯に常勤の責任者の配置を

るには市が補助金を負担する必要がありますかと思ひます。ほかの条件等も確認し、進めたいと考えます。

市長 候補地の補助金の縛りはありますが、できる限り早期に対策が進められるよう、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

質問 住民検診と血中濃度の測定、水源井戸のPFAS汚染の原因究明を国・県へ申し入れすべきでは。

市長 国・県への対応には一定の決まりがあり、動向を見守っていく必要があります。方向性が示されればしっかりと話をしていきます。

令和7年12月定例会において賛否の分かれた表決結果一覧

○：賛成 ●：反対

	中澤 功史	埴田 裕之	高野 佳美	高澤 幹	福島 丘泰	後藤 弘一	反町 英孝	板倉 正和	田村 なつ江	田中 猛夫	山内 崇仁	田邊 寛治	安力川 信之	加藤 幸子	茂木 弘伸	須田 勝	望月 昭治	角田 喜和	
渋川地区広域市町村圏振興整備組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分に 関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠席	●	○	可決

※安力川議長は表決には参加せず、可否同数の場合のみ裁決します。

※議案の内容や委員会審査の様子は2～3ページを、議案に対する反対討論は4ページをご覧ください。

議会往来

11月(11月12日以降)

▽12日 埼玉県川島町議会が視察
来庁(議会の活性化について)

▽19日 愛知県半田市議会が視察
来庁(公共交通の利便性のさらなる向上について)

渋川市議会は本会議をインターネット中継・録画配信しています。
また、詳しい内容は会議録検索システムをご覧ください。
各委員会は録画配信をご覧ください。
それぞれ、以下の二次元コードからご覧ください。

本会議中継
(議会放映
システム)



本会議会議録
(会議録検索
システム)



委員会
録画配信
(YouTube)

